

○子どもの居場所づくり「ひだまり」の運営

豊学区地域学校協働活動推進委員会の委員 4 名により、放課後の活動として実施した。年間延べ人数で380名の子どもたちが参加、ボランティアは年間延べ人数で140名が関わった。学習活動だけでなく、七夕、クリスマスなど、季節ごとの楽しい行事を行いながら、放課後の子どもたちの健全育成に努めた。



○地域と連携したダルマガエルの保護活動

6月28日、5年生が総合的な学習の時間の取組として実施した。講師をお招きしてダルマガエルについてのお話を聞いた後、実際に現場に出向いて観察を行った。また、6月22日の個体数調査に一部の児童が参加した。



○「タウンミーティング」

6年生が総合的な学習の時間のまとめとして、豊学区の将来について考えた。自分たちが考えたことを地域の方に発表し、地域の方とともに豊学区の将来について話合った。（今年度は山南学園とオンラインで交流した）

実施は2月6日に実施した。6年生が考えたことを発表し、豊学区地域協働学校運営協議会、豊学区地域学校協働活動推進委員会、PTA代表に意見を述べてもらった。山南学園の児童もタウンミーティングに参加した。来年度も複数回実施する予定である。



○地域人材・事業所等による「夢」についての講話

6年生の総合的な学習の時間には「夢」について取り組んだ。学区内にあるニッカリ・杉本社長ににお話をしていただき、子どもたちが積極的に質問することで「夢」について深めることができた。

また、西大寺公民館との連携、協働を進めるため、内田館長、村田主任には豊学区地域学校協働活動推進委員会の委員をお願いしている。



○学区内の事業所との連携による学習活動

学区内の事業所見学については、いちご農園マルシェ・郵便局（2年）、東部クリーンセンター・平林金

属・エコ便・消防署、シーアール物流、カーツ、コメリ、ひかり産業等(3年)で実施した。それぞれの事業所が工夫を凝らして事業所の紹介をしてくださった。

子どもたちにとっては、地域にある身近な事業所であり、小さい頃から事業所の場所等は知っていたが、何を作っているのか、何をしているのかはわかりにくい存在であった。その事業所を見学することにより、それらの事業所をより身近に感じることができた。

事業所にとっても、地域とつながるチャンスの一つになったのではないと思われる。



○「ミサンガづくり」

2学期末に学区にお住まいのお年寄りの方にい草を使ったミサンガづくりを教えていただいた。1年生が地域のお年寄りの方々に昔遊びを教えていただいた。

